2026年12月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月12日

上 場 会 社 名　　Ｇ－ＦＡＣＴＯＲＹ株式会社　　上場取引所　東
コ ー ド 番 号　　3474　　URL　https://g-fac.jp/
代　　表　　者　(役職名)　代表取締役社長　　(氏名)　片平　雅之
問合せ先責任者　(役職名)　専務取締役管理本部長(氏名)　田口　由香子　　(TEL) 03-5325-6868
配当支払開始予定日　　―

決算補足説明資料作成の有無　　：無
決算説明会開催の有無　　：無

(百万円未満切捨て)

１．2026年12月期第３四半期の連結業績（2026年１月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第３四半期	4,925	1.7	△77	―	△66	―	△38	―
2025年12月期第３四半期	4,841	1.5	△89	―	△139	―	△210	―

(注) 包括利益 2026年12月期第３四半期　△57百万円(　　－%) 2025年12月期第３四半期　△182百万円(　　－%)

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第３四半期	△5.86	―
2025年12月期第３四半期	△32.20	―

(注) 潜在株式調整後１株当たり四半期純利益につきましては、潜在株式は存在するものの、１株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期第３四半期	3,635	1,094	29.5
2025年12月期	3,970	1,180	29.3

(参考) 自己資本 2026年12月期第３四半期　1,071百万円　　2025年12月期　1,163百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	―	0.00	―	5.00	5.00
2026年12月期	―	0.00	―		
2026年12月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：無

３．2026年12月期の連結業績予想（2026年１月１日～2026年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,900	6.7	66	―	70	―	34	―	5.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更　　：無

新規　　ー社（社名）　　、除外　　ー社（社名）

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：無

②　①以外の会計方針の変更　　：無

③　会計上の見積りの変更　　：無

④　修正再表示　　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年12月期３Ｑ	6,839,000株	2025年12月期	6,839,000株
②　期末自己株式数	2026年12月期３Ｑ	300,000株	2025年12月期	300,000株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2026年12月期３Ｑ	6,539,000株	2025年12月期３Ｑ	6,521,994株

※　添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー　：無

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当四半期連結累計期間の経営成績の概況 …… 2
（２）当四半期連結累計期間の財政状態の概況 …… 4
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 4
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 5
（１）四半期連結貸借対照表 …… 5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 7
四半期連結損益計算書 …… 7
第３四半期連結累計期間 …… 7
四半期連結包括利益計算書 …… 8
第３四半期連結累計期間 …… 8
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 9
（継続企業の前提に関する注記） …… 9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 9
（重要な後発事象） …… 9
（セグメント情報等の注記） …… 9
（キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 10

１．経営成績等の概況

（１）当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第３四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用者所得の増加が続くもとで個人消費が緩やかな回復基調をたどりました。一方で、原油高や円安に伴う物価の高止まりが続き、企業・家計の負担は残ったほか、地政学リスクや金融・為替市場の動向など、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの主力取引先である飲食業界におきましては、来店客数・客単価はともに底堅く推移する一方、消費者の節約志向は根強く、業態・店舗ごとの集客力や価格戦略が業績を左右する状況が続いております。加えて、原材料価格や人件費の上昇が経営負担となっており、依然として厳しい事業環境が続いております。

そのような状況下、当社グループは、国内の飲食店をはじめとするサービス業の成長をサポートすることを第一に、「夢をカタチに！和食を世界に！」という企業スローガンを掲げ、日本国内の和食文化を世界の様々な地域へ輸出する架け橋となれるよう努めてまいりました。また、経営サポート事業と飲食事業の連動による当社独自の「プラットフォーム」を通じて、両事業のシナジーにより収益を創出するビジネスモデルの確立を進めてまいりました。当第３四半期連結累計期間は、成長領域への先行投資と不採算領域の構造改革を同時に進める局面と位置づけ、中長期的な収益拡大に向けた基盤づくりに取り組んでまいりました。あわせて、中期展望の実現に向けて、国内及び海外の管理体制強化を推進しております。

この結果、当第３四半期連結累計期間の売上高は4,925,924千円（前年同四半期比1.7％増）、営業損失は77,810千円（前年同四半期は営業損失89,949千円）、経常損失は66,567千円（前年同四半期は経常損失139,421千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は38,295千円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失210,005千円）となりました。

なお、営業外収益では、当社が保有する外貨建ての関係会社貸付金等について、期末日の為替相場で換算替えを行ったことにより、為替差益4,384千円（前年同四半期は為替差損53,884千円）を計上いたしました。

また、特別利益では、当社が係争中であった工事代金の請求及び業務委託契約に基づく違約金の請求に関する訴訟について、和解が成立し、受取和解金38,720千円を計上いたしました。さらに、当社連結子会社が顧客企業との間で締結していた業務委託契約の終了に伴い、契約の定めに基づく違約金収入46,986千円を計上いたしました。

セグメントごとの経営成績の状況は、次のとおりであります。

①　経営サポート事業

当第３四半期連結累計期間においては、出退店サポートにおける新規案件の獲得が継続し、取扱物件数の積み上げによりストック型収益が堅調に推移したことが、当セグメント全体を下支えいたしました。また、2026年９月１日付で飲食店開業支援サービス「オミセクラフト」を承継し、開業検討段階のお客様との接点を拡充いたしました。

一方、外国人材紹介サービスについては、外食業における特定技能の新規受入停止の影響により、ベトナムからの紹介人数が減少いたしました。これを受け、食品加工・介護・宿泊等の他分野への展開を加速するとともに、ミャンマー・インドネシア等の新規対象国の開拓や日本人材紹介への対象拡大を進め、事業ポートフォリオの分散に取り組んでおります。これに伴い、専門人材の採用強化や人的資本投資等の先行投資を計画的に実施したことにより、人件費等が増加しております。なお、社宅サービス等の生活インフラサポートは、売上高が順調に拡大しております。海外においては、ベトナムでの進出サポート案件が増加いたしました。

その結果、当セグメントの売上高は2,296,284千円（前年同四半期比2.0％増）、営業利益は275,365千円（同14.9％減）となりました。

②　飲食事業

当第３四半期連結累計期間において、当社グループが展開する「名代　宇奈とと」の国内店舗では、不採算店舗の閉店を進めたことに加え、国内ライセンス店の事業継続支援を優先してロイヤリティの減額措置を継続したことから、国内売上高は減少いたしました。国内レストラン業態においては、不採算店舗の整理を継続し、人件費等のコストの圧縮を進めたものの、客数の減少による減収を補うには至りませんでした。

一方、海外店舗においては、ベトナムで新規出店を行ったほか既存店の客数が大きく伸び、売上高が前年同四半期比38.8％増と成長が続いております。シンガポールにおいてもメニュー改定やオペレーション改善によ

り売上高が増加し、損失が大幅に縮小いたしました。また、前期末に実施した海外店舗の減損処理により、減価償却費の負担が減少しております。これらにより、海外事業が国内の減収減益を補い、セグメント全体で増収増益となりました。

その結果、当セグメントの売上高は、2,629,639千円（前年同四半期比1.5％増）、営業利益は65,867千円（同54.9％増）となりました。

（２）当四半期連結累計期間の財政状態の概況

①　資産の部

当第３四半期連結会計期間の資産は前連結会計年度末より334,742千円減少して3,635,967千円となりました。これは主に、差入保証金が51,704千円増加した一方で、現金及び預金が283,502千円、建物及び構築物が49,060千円減少したことによるものであります。

②　負債の部

当第３四半期連結会計期間の負債は前連結会計年度末より248,269千円減少して2,541,966千円となりました。これは主に、長期預り保証金が73,179千円増加した一方で、買掛金が55,948千円、流動負債その他が121,777千円、長期借入金が154,166千円減少したことによるものであります。

③　純資産の部

当第３四半期連結会計期間の純資産は前連結会計年度末より86,473千円減少して1,094,001千円となりました。これは主に、利益剰余金が70,990千円、為替換算調整勘定が22,588千円減少したことによるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、当第３四半期連結累計期間において、ベトナム事業の成長や管理部門の費用削減が進捗する一方、国内飲食事業の回復の遅れ及び外国人材紹介サービスにおける先行投資の影響等により、営業損益は計画を下回って推移しております。

第４四半期におきましては、国内レストラン業態における忘年会需要による繁忙期を迎えるほか、前期までに実施した不採算店舗の整理による固定費削減効果、外国人材紹介サービスにおける対象分野の拡大に伴う紹介実績の積み上がり、ベトナム事業の継続的な成長及びシンガポール事業の収益改善等による収益の拡大を見込んでおります。

これらを踏まえ、第４四半期の業況について現在精査中であり、2026年２月13日に公表いたしました通期の業績予想を据え置いております。修正が必要と判断した場合は、速やかに公表いたします。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第３四半期連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,232,120	948,618
売掛金	185,819	165,196
リース投資資産	18,988	8,799
商品	74,101	69,659
その他	356,940	369,654
流動資産合計	1,867,971	1,561,927
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	443,524	394,464
その他（純額）	90,570	78,627
有形固定資産合計	534,095	473,091
無形固定資産		
その他	20,093	21,936
無形固定資産合計	20,093	21,936
投資その他の資産		
差入保証金	1,256,727	1,308,432
その他	293,789	270,769
貸倒引当金	△1,967	△189
投資その他の資産合計	1,548,549	1,579,012
固定資産合計	2,102,738	2,074,040
資産合計	3,970,710	3,635,967

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第３四半期連結会計期間 (2026年９月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	164,668	108,719
1年内返済予定の長期借入金	197,345	194,328
未払法人税等	451	818
賞与引当金	－	27,208
その他	785,963	664,185
流動負債合計	1,148,428	995,260
固定負債		
長期借入金	583,396	429,230
長期預り保証金	958,223	1,031,402
その他	100,188	86,073
固定負債合計	1,641,807	1,546,706
負債合計	2,790,235	2,541,966
純資産の部		
株主資本		
資本金	56,227	56,227
資本剰余金	636,050	636,050
利益剰余金	520,526	449,536
自己株式	△243,933	△243,933
株主資本合計	968,871	897,880
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,523	4,251
為替換算調整勘定	191,622	169,033
その他の包括利益累計額合計	194,145	173,285
新株予約権	8,845	12,464
非支配株主持分	8,612	10,371
純資産合計	1,180,474	1,094,001
負債純資産合計	3,970,710	3,635,967

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第３四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 2025年１月１日 至 2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自 2026年１月１日 至 2026年９月30日）
売上高	4,841,792	4,925,924
売上原価	2,550,190	2,651,185
売上総利益	2,291,601	2,274,738
販売費及び一般管理費	2,381,551	2,352,548
営業損失（△）	△89,949	△77,810
営業外収益		
受取利息	2,965	2,095
受取配当金	145	231
為替差益	－	4,384
助成金収入	1,370	6,183
その他	4,687	3,336
営業外収益合計	9,168	16,232
営業外費用		
支払利息	4,748	4,135
為替差損	53,884	－
その他	6	854
営業外費用合計	58,640	4,989
経常損失（△）	△139,421	△66,567
特別利益		
固定資産売却益	6,747	11,155
違約金収入	15,102	49,219
受取和解金	37,964	43,625
特別利益合計	59,815	103,999
特別損失		
固定資産除売却損	5,843	2,479
訴訟関連損失	20,784	19,271
和解金	48,496	5,248
店舗閉鎖損失	27,197	20,387
特別損失合計	102,322	47,386
税金等調整前四半期純損失（△）	△181,928	△9,953
法人税、住民税及び事業税	5,787	9,591
法人税等調整額	23,791	16,585
法人税等合計	29,579	26,177
四半期純損失（△）	△211,508	△36,131
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失（△）	△1,502	2,164
親会社株主に帰属する四半期純損失（△）	△210,005	△38,295

四半期連結包括利益計算書

第３四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 2025年１月１日 至 2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自 2026年１月１日 至 2026年９月30日）
四半期純損失（△）	△211,508	△36,131
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,133	1,728
為替換算調整勘定	27,813	△23,300
その他の包括利益合計	28,947	△21,572
四半期包括利益	△182,560	△57,703
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△180,948	△59,155
非支配株主に係る四半期包括利益	△1,612	1,451

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間(自　2025年１月１日　至　2025年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額　（注）２
	経営サポート事業	飲食事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,250,196	2,591,596	4,841,792	－	4,841,792
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－
計	2,250,196	2,591,596	4,841,792	－	4,841,792
セグメント利益又は損失(△)	323,397	42,536	365,933	△455,883	△89,949

（注）１．セグメント利益又は損失(△)の調整額△455,883千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。

２．セグメント利益又は損失は四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの資産に関する情報

該当事項はありません。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間(自　2026年１月１日　至　2026年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額(注) １	四半期連結損益計算書計上額　(注) ２
	経営サポート事業	飲食事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,296,284	2,629,639	4,925,924	－	4,925,924
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－
計	2,296,284	2,629,639	4,925,924	－	4,925,924
セグメント利益又は損失(△)	275,365	65,867	341,233	△419,043	△77,810

(注) １．セグメント利益又は損失(△)の調整額△419,043千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。

２．セグメント利益又は損失は四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの資産に関する情報

該当事項はありません。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第３四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第３四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産及び長期前払費用に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第３四半期連結累計期間 (自　2025年１月１日 至　2025年９月30日)	当第３四半期連結累計期間 (自　2026年１月１日 至　2026年９月30日)
減価償却費	145,568千円	83,394千円
のれんの償却額	－　〃	27　〃